

# 新茶の出来は?お店で 交わす会話に温もり

国家資格キャリアコンサルタント  
チェック&バランス山下労務管理事務所 所長  
山下雅子さん

東京からこんにちは  
静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さの可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

## 生きがい、働きがいを支援

電子機器・家電のトップメーカーを途中退職後、専業主婦の期間中に、特定社会保険労務士資格を取得し、労務管理事務所を立ち上げた。社労士として仕事をすると、大学院経営学修士課程を修了しMBAの学位も持つ。社労士の道を選んだのは「かつて勤めていた企業が福利厚生の一環で社労士の通信教育講座を設けていて、少し勉強したんですね。それが頭の隅にありました」。

顧客の多くはサービス業。「労務管理相談やコンサルティング、各種社会保険手続きの指導などのほか、健康でより生きがい、働きがいのある職場環境づくりへのお手伝いもしています」。

この仕事に携わって20年余。「お客様から『ありがとう』と言われるのが一番うれいすね。これはこうしたほうがいいですよねとか、社労士としてやるべきことをしているだけですが、お客様の役に立つたと、やりがいを感じます。これからは数字では読み取れない、企業と従業員の心をつなぐ役割を大切にしていきたいと思っています」と話す。

## 刑事並みの聞き込み力

静岡茶が大好きという山下さん。新茶のシーズンになると静岡のお目当てのお店に買いに行く。「店員さんに今年の出来はどうですか? 調べて尋ねたりするのも楽しみです。新茶を送る時に、そこで聞いたお話しも一緒に添えると、相手の方とても喜んでくれます。元警察署長の知人から『ベテラン刑事並みの聞き込み力』とお返事をいただき、大笑いしました」。店員さんらとのちよつとしたやり取りの中に静岡の「温もり」を感じるようだ。

インターネットの発達で、今やほとんどの商品がネットで手に入る。「静岡のお茶も簡単に購入できますが、やはり店員さんと直接、生でやりとり、会話することでお互い知らない情報の共有もできます。買い物ついでに、こういう例えば、会話フエスミたいなものも、うりにできたらいなと思いますね。店先で新茶でもどうぞと言われれば、うれいすですし、また来ようという気になるのではないでしょうか」。人と人をつなぐことに心を砕く山下さんらしさにじむ。

(文・写真・長田義明)



Masako Yamashita

静岡市葵区生まれ。県立静岡高校卒業。上智大学法学部卒業後、入社したソニー株式会社を途中退職、特定社会保険労務士の資格を取得、チェック&バランス山下労務管理事務所を設立、現在に至る。この間、東京都立大学(現首都大学東京)大学院経営学修士課程を修了、MBAの学位を取得。目白大学エクステンションセンター非常勤講師を務めた。産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタントなど資格多数。ビジネスに役立つ経営情報などを盛り込んだ「フクロウレポート」を毎月発行。<http://work-balance.net/>  
[masakoyama@viola.ocn.ne.jp](mailto:masakoyama@viola.ocn.ne.jp)